

## 芸術科シラバス

| 教科名   | 芸術   | 科目名  | 音楽 I |
|-------|--|------|------|
| 科目的目標 | 音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。 |      |      |
| 履修学年  | 1年   | 類型   |      |
| 単位数   | 1単位  | 履修形態 | 選択履修 |
| 教科書   | 音楽 I Tutti(教育出版)   | 副教材等 | 適宜   |

### ①学習の目標

- (1) 音楽への関心を深め、意欲的に音楽活動に取り組む態度を身につける。  
 (2) 音楽的な感性を高め、表現したり鑑賞する能力を養う。

### ②学習内容と授業の進め方

- (1) 表現分野では、世界の歌を通して基本唱法を習得する。  
 (2) 鑑賞分野では、交響曲や歌劇、ミュージカルなど幅広く映像を通して鑑賞する。

### ③学習に当たっての留意点

- (1) 歌唱においては、基本を大切に発声や歌い方を学ぶこと。  
 (2) 我が国や諸外国の文化への理解を深めること。  
 (3) いろいろな作品との出会いから、新たな発見と感動を体験すること。

### ④評価の観点

- |                     |   |
|---------------------|---|
| (1) 関心・意欲・態度<br>【関】 | 芸術を愛好し、芸術文化を尊重するとともに、個性を生かして意欲的、主体表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとする。 |
| (2) 芸術的な感受や表現の工夫【芸】 | 感性を働かせて芸術のよさや美しさを感じ取り、創造的に表現を工夫する。                          |
| (3) 創造的な表現の技能【創】    | 創造的な芸術表現をするために必要な技術を身に付けている。                                |
| (4) 鑑賞の能力<br>【鑑】    | 芸術を理解し、そのよさや美しさを深く味わう。                                      |

### ⑤評価の方法

- (1) 表現分野では実技テストを実施し、発声法や表現などを評価する。  
 (2) 日常の学習活動への参加態度を評価する。

### ⑥授業計画

| 月           | 単元名                               | 具体的な学習内容  | 評価の方法など(観点項目を記入)         |
|-------------|-----------------------------------|---|--------------------------|
| 4<br> <br>9 | オリエンテーション<br>校歌<br>樂典<br>歌唱<br>器楽 | 校歌指導<br>校歌暗唱テスト<br>樂典指導<br>ドイツ音名、階名、音名<br>音程(転回音程、協和音程、全音階音程等)<br>階名唱(移動ド、固定ド)<br>音階、(長音階、短音階)<br>5度圈<br>歌唱指導<br>川の流れのように<br>ドイツリート「野ばら」シーベルト作曲<br>イタリア歌曲「カーロ ミーオ ベン」<br>日本歌曲「夏の思い出」<br>歌唱暗唱テスト<br>津軽三味線<br>十五夜<br>黒田節<br>ソーラン節 | 独唱 暗譜テスト<br>【関】【芸】【創】【鑑】 |

|              |               |   |                          |
|--------------|---------------|---|--------------------------|
|              |               |   |                          |
| 10<br> <br>3 | 歌唱<br> <br>鑑賞 | 歌唱指導<br>アメリカの歌「夢路より」<br>日本歌曲「この道」<br>日本の歌「雪の降る街を」<br>イタリア歌曲「カーロ ミーオ ベン」<br>歌唱暗唱テスト<br>鑑賞<br>サウンド オブ ミュージック<br>歌劇「カルメン」<br>その他 | 独唱 暗譜テスト<br>【関】【芸】【創】【鑑】 |
|              |               |   |                          |